



萩原天神社に祀られている天神様こと菅原道真公は承和12年(845)に生まれ、この年は乙丑(きのとうし)でした。牛が反芻することと同じように、学問でも繰り返しの勉強がいいことから、牛を大切にしようとして、この「なで牛」の耳元でお願いしながらやさしく撫でると、撫でた箇所と同じところにご利益があるとされています。



新春のINDEX

- 専門外来の医師紹介 肝臓専門医 寺尾 英夫
- 肝疾患についてのお話 循環器専門医 井上 健
- 肝炎無料検査のお知らせ 肝臓専門医 所 征範
- リレーインタビュー『現場のミカタ』



消化器内科(非常勤)

有田胃腸病院 肝臓専門外来28年

てらお ひでお
医師 寺尾 英夫

有田胃腸病院肝臓病センター長
大分大学名誉教授
日本肝臓学会認定肝臓専門医



小生が有田胃腸病院の肝臓専門外来(非常勤)を始めたのは、約2年の外国生活から帰って間もなくの平成4年(1992年)9月だったと思う。ちょうどこの年の4月にC型肝炎の初めての原因治療(ウイルス排除治療)として、インターフェロン(注射薬)が認可され、平成26年(2014年)まで22年間続いた。2014年経口薬の抗ウイルス薬(DAA)の登場で99%のウイルス死滅が可能となり、現在このDAA治療がC型肝炎治療の主流となっている。2020年10月にはこのウイルスを発見した3名の医学者のノーベル賞受賞が決まった。

B型肝炎については2000年核酸アナログ製剤の登場でB型肝炎ウイルスを完全死滅とまではいかないが、増殖抑制でほぼコントロールできるようになった。

慢性化するB型肝炎・C型肝炎治療はこの数十年で飛躍的進歩を遂げた。その時代に肝臓専門医として働いたことは至上の幸せである。

循環器内科(非常勤)

いのうえ けん
医師 井上 健

医学博士
日本循環器学会専門医
日本内科学会認定内科医

最近の日本人の高齢化に伴い循環器疾患(心臓・血管疾患)の合併頻度が増加しております。

当院も消化器疾患を専門としておりますが、循環器疾患の合併患者様が増加しております。そこで循環器専門医の必要性から小生が招聘されました。小生のできる範囲(限界はありますが)で循環器専門医として2017年4月より当院にご奉仕させて頂いております。

自己紹介をさせていただきます。

昭和49年に大学医学部を卒業、循環器内科が主の医局に入局しました。研修医時代は、大学医局、一般内科病院、腎臓内科病院(人工透析専門医)、呼吸器内科、循環器外科の出張を経験し、その後大学で研究、医学博士号を得ました。

大分大学医学部が開院(昭和57年10月)と同時に大分に帰省致しました。

第一内科循環器科の末席を汚し臨床と教育に従事致しました。忙しく数年が経過し、その後は大分赤十字病院、大分医療センター(循環器医長)で臨床に励みました。

その後、医局や個人的事情から別府市内の医療法人の勤務となり、長きにわたり一般臨床を経験しました。

2011年の東北震災を契機に自分自身の生き様を再考して常勤を終了させて頂きました。

それからはフリーター医師(非常勤医師)として、自らの専門外の知識も得ようと、全国の選択させて頂いた医師の研修を望み、実行しました。

糖質制限(京都高雄病院:江部康二先生)、感染症治療(神戸大学:岩田健太郎先生)、火傷、褥瘡治療(開業医:夏井誠先生)を選択し研修を選びました。すべての研修の了解を得、各々約1か月間の短期研修でしたがとても貴重な経験をさせて頂きました。

その後は、新たに得た知識と循環器専門医として知識を役立てようと、フリーターとして生きる道を選択しました。現在は週5日、毎日異なる勤務先で勤務いたしております。

当院は月曜のみの勤務ですが、小生ができる範囲で全力を尽くしたいと考えています。よろしくお願い申し上げます。

最後に小生の似顔絵を載せて頂きます。ご覧ください。



消化器内科

ところ まさのり
医師 所 征範

日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会肝臓専門医



2020年4月に大分大学消化器内科から有田胃腸病院に異動となりました。

大学では肝臓を専門分野として、臨床では肝細胞がんのラジオ波焼灼療法やC型肝炎の内服治療など、研究ではビタミンEの脂肪肝抑制効果についての基礎研究や飲酒歴と遺伝子多型の臨床研究を行ってきました。

日本でのがんの死亡者数は、年間約22万人とされており部位別で肝臓がんは5番目で約2.7万人です。2010年ごろまで肝がんの原因の7割はC型肝炎でしたが、直接作用型抗ウイルス薬(DAA)が開発されたために、C型肝炎、肝臓に至る人が減少しました。しかし非ウイルス性の肝がんの割合が比較的増加しており、その半分はアルコール性、1-2割は非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)だといわれています。これらの疾患は、ウイルス性肝疾患に比べて母集団が広く、発がん率が低く、生活習慣の改善という治療は困難であり、病識を持ちにくいいためフォローアップがしにくく、高リスク群の囲い込が困難です。

有田胃腸病院では、内服通院中の患者さんも、そうではない健診目的の方も、1年に1度は血液検査、エコー、CTなど画像検査、胃内視鏡検査を、3年に1度は大腸内視鏡検査をお勧めしています。今年度は新型コロナウイルス流行のため受診控えの傾向がありますが、4~10月ののべ件数は、腹部エコー2871例、CT1891例、内視鏡検査3166例、大腸内視鏡検査1356例、協会けんぽ及び企業健診487件などと多数の患者さん、健診者さんに検査を受けていただきました。各種検査を通じて、肝臓領域を含めた消化器慢性疾患、悪性疾患の早期の発見と治療に寄与できればと考えております。

肝臓をいたわる食事と生活習慣

肝臓の健康を害する大きな要因は過度の飲酒が原因だとイメージしている方は多いのではないのでしょうか？

しかし、近年アルコールをあまり飲まない人に起こる脂肪肝が増えています。日本人の4人に1人は脂肪肝と言われており、有田胃腸病院の栄養指導でも指導件数が多くなっている疾患です。

脂肪肝とは食べ過ぎなどが続き、肝臓に中性脂肪が多くなった状態であり、特有の症状がなく無症状のことがほとんどです。放っておくと肝臓の働きが低下したり、肝硬変や肝がんのリスク上昇につながるため、生活習慣や食事を見直し肝臓の負担を減らしましょう。

こんな生活習慣が肝臓に負担をかけています！



生活習慣を見直して肝臓をいたわりましょう！

○1日3食バランスの良い食事をとることを心がけましょう

主食・主菜・副菜を組み合わせることでバランスが整います

○食べ過ぎない

主食中心の食事や菓子・ジュースの摂取量と頻度に注意！

○食物繊維やビタミン、ミネラルをしっかりと

野菜、海藻、きのこのおかずを毎食意識して食べるようにしましょう

○お酒は控えましょう

お酒を飲む時は量に注意し、週2日程度は休肝日を設けましょう

○適度な運動を

無理なく続けられる運動を心がけましょう



< 検査部・健診部だより >

肝臓

解毒や代謝、分解、貯蔵など機能が
多いため、検査項目も多い。



去年湯平温泉の復興のため現れた真さんも
今回特集の肝臓を患っておりまして
【いかに幸せにナッテオウシ(真次郎)】
俳句を風天と称するなんとも真さんらしい一句

最近「住民健診や人間ドックを受けているので肝臓がん検診を受ける必要はない」と思い込んでいる方も多くいらっしゃいます。

しかしこれらの検診では、本人が希望しないかぎり、肝炎をチェックする項目がない場合が少なくありません。「会社の人間ドックで問題なかったから肝臓の心配はない」とは言い切れないのです。

ましてや、健康診断で肝機能異常と言われ、要精密検査と指摘された方は肝臓専門医の診察を必ず受けてください。

肝機能の数値が思わしくない方、肝炎ウイルス検査をまだ受けていない方はぜひ一度ご相談ください。



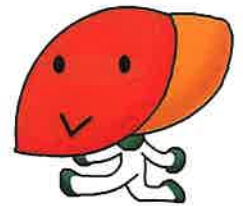
当院における肝炎無料検査についてのお知らせ

大分市では、ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療を促進するため、保健所および医療機関でB型・C型肝炎ウイルスの無料検査を実施しています。

肝炎ウイルスは感染しても本人の自覚症状がないことが多いことから気が付かないうちに病気が進行していることもあります。そのため、早期発見・早期治療が重要です。

まだ肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、一度検査をすることをお勧めします。

- 対象…肝炎ウイルス検査を希望する方(ただし、過去に肝炎ウイルス検査を受けた方は除く)
- 検査方法…採血による血液検査【HBs抗原検査・HCV抗体検査】(食事制限はありません)
- 申込方法…お電話で事前相談とご予約が必要です。
- 受診方法…当院に用意している専用の問診票にご記入いただきます。
- 費用…検査料は無料です。
- 必要物品…健康保険証



肝炎総合対策マスコット
(厚生労働省)

現場の守り手

検査部主任
臨床検査技師 豊田 千賀子



私が有田胃腸病院に勤務してもう35年以上が過ぎてしまいました。人生の半分以上をこの病院と共に過ごした事になります。

入社した当時は東館のみで内視鏡は1台で検査を行い、手術は外来検査が終わって始まり夜遅くまで毎日のように行っていました。

それでも早く手術が終わった時はピアガーデンに行ったり、休みの日にはみんなで一緒に行楽に出かけたり、慰安旅行には子供コースがあり、子供と一緒にいろいろなレジャー施設に連れて行ってもらいました。普段は子供に中々構ってあげられないのですが、この時はばかりは親子ともども楽しむことができました。

私が仕事をここまで続けてこられたのも当院の体制や諸先生方の叱咤激励、職員皆様の協力があったのだと思います。お礼を申し上げるとともに、これからも患者様第一で地域医療に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。

診療日程

	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:00	○	休	○	○	○	○	第1・3・5
午後 2:00~5:00	○	休	○	○	○	○	第1・3・5

診療時間

午前 8:30~12:00 (午前最終受付 12:00)
午後 2:00~ 5:00 (最終受付 5:00)

休診日

- 火曜日 ● 第2・第4日曜日 ● 祝日
- 12月30日~1月3日 ● 8月13日~8月15日

編集後記



国民病といわれた肝炎、肝臓がん。肝臓専門医である二人の先生のお話を聞くと、新しい治療薬の開発によって、C型肝炎・B型肝炎とも克服が近づいてきたことがわかる。その一方で、非ウイルス性の肝臓がん患者が増加しつつあることは気になる話だ。

小池和彦先生(東京大学大学院消化器内科教授)の言葉をお借りすれば、『肝炎ウイルスという外敵に勝利しても、非B非C型肝炎という内なる敵が待ち受けている。闘いは終わらない』ということか。

日ごろの飲みすぎを反省し、少しは肝臓の臓器をいたわってあげようと思う。

医療法人 八宏会 有田胃腸病院

代表
地域連携室

TEL:097-556-1772
TEL:097-529-8960

FAX:097-556-1778
FAX:097-529-8961